

ひとりの商人、無数の使命

JCM活用による比パイナップル缶詰工場に おけるバイオガス発電および燃料転換事業

2022年3月

都市環境・電力インフラ部
プロジェクト開発第一課
課長補佐
石上 亮太



伊藤忠商事株式会社

世界62カ国に約100の拠点を持つ大手総合商社として、幅広いビジネスを展開しています。

グループ企業理念



売り手よし、買い手よし、世間よし

企業行動指針

ひとりの商人、無数の使命

初代伊藤忠兵衛、そしてその後の先人たちがそうしたように、これからも商人魂を貫き、商いを一つ一つ積み重ねることで、それぞれの使命を果たしていきます。



会社概要



(会長CEO 岡藤 正広)



(社長COO 石井 敬太)

設立	1858年
本社	東京・大阪
拠点数	国内：7店、海外：87店
連結対象会社数	279社
従業員数	単体：4,264名 連結：128,146名

財務ハイライト (2021年3月期)

総資産	収益	連結純利益
11.2 兆円	10.4 兆円	4,014 億円
Net DER	ROE	格付
0.78 倍	12.7 %	A3 Moody's A S&P

「SDGs」への貢献・取組強化

7つの重要課題(マテリアリティ)を通じて社会課題の解決に取り組み、SDGsに貢献していきます。



- ドール・フィリピンの2か所のパイナップル缶詰工場製造過程で生じるパイナップル残渣(搾りかすや外皮)から、燃料となるバイオガスを取り出し、ガスエンジンによる発電および燃料代替をはかる事業。
- 想定温室効果ガス排出削減量は49,648 tCO₂/年。フィリピン向けJCMプロジェクトで2番目となる規模。

【バイオガス設備概要】

原料



パイナップル残渣



回収・粉砕器

メタン発酵



メタン発酵槽

-微生物の働きで発酵、バイオガスを発生-



有機残渣

堆肥の材料として再々利用

バイオガス

発電・熱供給



ガスエンジン



電気



ボイラー



熱・蒸気

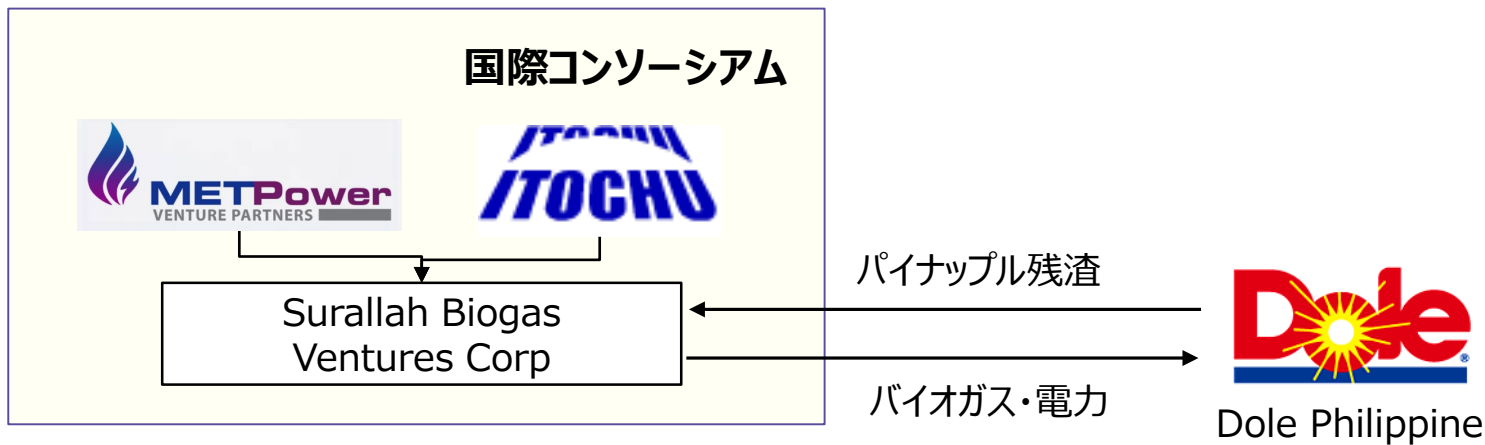
プロジェクトサイト (フィリピン ミンダナオ島)



【メタン発酵槽、関連設備】



- 伊藤忠および比MET Power Venture Partners社が出資するSurallah Biogas Ventures Corpが、Doleフィリピン向けにバイオガス製造・発電事業 (5.7MW相当)を行う事業。
- Doleフィリピン所有のパイナップル缶詰工場から排出される残渣は、処理コスト負担および悪臭等の環境問題発生。電気代削減ニーズもある中、Dole社との間で協議を重ね、契約に至る。
- 民間企業にとって資金面で優先順位が低くなりがちな残渣処理をJCM対象とすることで、環境面で問題ある残渣を適切に処理すると共に、バイオガス製造・発電に活用する意義深い取組み。



循環型エネルギーの構築

1. 廃棄物(残渣)の有効活用により食品ロス問題を改善
2. 残渣由来のバイオガス発電で、温室効果ガスの大幅削減
3. バイオガスに転換後、設備内に残った残渣は、堆肥生産用途として再利用
4. エネルギーコストの安定化に寄与

ご静聴ありがとうございました。

